

高梁川流域キッズ

たかはしがわりゆういき

高梁川流域ゆかりの

いじん けんじん とくしゅう

偉人・賢人特集



活躍した年:

1889~1956年



活躍した分野:

洋画家



ゆかりのある場所:

倉敷市立美術館

顕彰記念室

(池田逢邨・坂田一男)



さかた かずお
坂田 一男

新高総早 倉敷市
見梁社島 掛原口庄岡
市市市町 町市市町市



さかたかずお めいじ ねん おかやましせんどうちよう いがくしゃ さかたかいたろう ちようなん
坂田一男は、明治22（1889）年、岡山市船頭町で医学者・坂田快太郎の長男として
う
生まれました。

かずお いしゃ めざ こうとうがっこう じゆけん しっぱい びようき びようきりょうよう
一男は医者を目指して高等学校を受験しましたが失敗し、病気になりましたが、病氣療養
ちゆう もくたんが まな がか めざ
中に木炭画を学び画家を目指すことにしました。

たいしやう ねん い たいざいちゆう がか であ
大正10（1921）年にフランスへ行き、滞在中に画家のフェルナン・レジエとの出会
りったいは ふ かずお がぎょう じっしつてき しゅつぽつてん
いによってキュビズム（立体派）に触れ、このことが一男の画業の実質的な出発点になりま
した。その後、昭和8（1933）年に帰国するまでフランスで活躍しました。

きこくご たましおとしま きほん どくとく ちゆうしやうかい
帰国後は玉島市乙島のアトリエにこもり、キュビズムを基本としながらも、独特の抽象絵
が せいさく つづ
画の制作を続けました。

せんご ぜんえいおかやまびじゆつきやうかい けっせい
戦後にはA・G・O.（アヴァンギャルド・オカヤマ）（前衛岡山美術協会）を結成しすばら
ぎょうせき あ
しい業績を上げました。

さかたかずお がぎょう せいぜんみと きんねん にほん ちゆうしやうかいが
坂田一男の画業が生前認められることはありませんでしたが、近年では、日本の抽象絵画
せんくしゃ かんせいど たか ひょうか みなお すず ほんかくてき
の先駆者として、かつその完成度の高さが評価されて、見直しが進んでいます。本格的にキュ
りったいは まな げんかく いみ りったいは さくひん のこ さっか
ビズム（立体派）を学び、厳格な意味でのキュビズム（立体派）の作品を残している作家は、
さかたかずお ほか
坂田一男をおいて他にはいません。